PART2　甲・乙点／組合せ／ハイフン

④　甲・乙点＝上・中・下点をはさんで上に返る。（甲乙丙丁…）

⑦乙⑤下③二①②一④上⑥甲　／　⑨丙①⑧乙⑥下④二②③一⑤上⑦甲

○レ○乙○下○二○○一○上○甲。

＊上中下点を使うべき場合も、四ヶ所以上返り点をつけなければならないときは「甲乙丙丁」を使用する。

⑨丁①⑧丙②⑦乙⑤二③④一⑥甲

⑤　組み合わせ点＝一レ、上レ、甲レのみ。　＊一・上・甲のすぐ上にレ点をつけることはできない。

①⑤二②④一レ③　／　⑥下③二①②一⑤上レ④　／　⑧乙⑤下③二①②一④上⑦甲レ⑥

（例）

明ラカニスル二人之（の）欺クヲ一レ王ヲ也（なり）。　〔**人の**王を欺くを明らかにする**なり**。〕

土佐ハ無シ二物トシテ**不**ざル一レ有ラ。　〔　　　　　　　〕

⑥　二字の熟語へ返る＝－（ハイフン）でつなげる。

③二-④①②一　／　⑤三③二-④①②一

（例）

往二-来ス於市井（しせい）ノ間（かん）一ニ。〔市井の間に往来す。〕

師二-事ス之（これ）一ニ。〔　　　　〕

問一　次の○の中に、返り点にしたがって、読む順番を数字で書け。

○二‐○○一○○レ○。

問二　次の数字の順番に読めるように返り点をつけよ。

⑦⑥①②⑤③④。

問三　次の文は「単于之を降さんと欲す」と読む。この読み方に従って、返り点をつけよ。

（単于（ぜんう）・之（これ）・降（くだ）・欲（ほっ））

単 于 欲 降 之 。

〈Memo〉

第2講　PART2　確認問題

① 数字の順番に読めるように返り点をつけたものとして最も適当なものを、次の中から選べ。

「①⑧⑥④②③⑤⑦⑨」

ア　①⑧下⑥乙④二②③一⑤甲⑦上⑨
イ　①⑧乙⑥二④下②③上⑤一⑦甲⑨
ウ　①⑧二⑥下④乙②③甲⑤一⑦上⑨
エ　①⑧乙⑥下④二②③一⑤上⑦甲⑨

② ○の中に返り点に従って読む順番を数字で書き入れたものとして最も適当なものを、次の中から選べ。

「○下○○二○○○一○○上レ○」

ア　⑨下①⑤二②③④一⑥⑧上レ⑦
イ　⑨下①⑦二②③⑥一④⑧上レ⑤
ウ　③下⑥⑤二⑦⑧④一⑨②上レ①
エ　⑧下①⑤二②③④一⑥⑦上レ⑨

③　○の中に返り点に従って読む順番を数字で書き入れたものとして最も適当なものを、次の中から選べ。

「○下○二○○○一○○上」

ア　⑦下③二④①②一⑤⑥上
イ　⑦下⑤二①②④一③⑥上
ウ　⑥下③二④①②一⑦⑤上
エ　⑦下④二①②③一⑤⑥上

④　「七十而従心所欲」を、「七十にして心の欲する所に従ひて」と読むには、どのように返り点をつけるのがよいか。最も適当なものを、次の中から選べ。（なお、「而」は置き字である。）

ア　七十二而従心レ所欲
イ　七十而従心レ所レ欲
ウ　七十而従二心所レ欲
エ　七十而従二心所レ欲一

⑤　「吾日三二省吾身一。」を返り点に従って読み下すとどうなるか。最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　吾日に省く吾が身を三つ。
イ　吾日に吾が身を三省す。
ウ　吾の日は三省の吾が身なり。
エ　吾が日の吾が身を省みる。

第2講 PART2 解答

三

④ ⑧レ⑦乙⑤下③二①②一④上⑥甲。

⑤ 〔土佐は物として有らざる無し。〕

⑥ 〔之に師事す。〕

問一 ②-③二①一④⑥レ⑤。

問二 ⑦レ⑥三①②⑤二③④一。

問三 単于欲レ降レ之。

第２講　PART2　確認問題　解答

〈解説〉

① 一・二点をはさんで上に返る場合は上・中・下点を、上・中・下点をはさんで上に返る場合は「甲・乙点」を使う。まずは二字以上返る④②③の③と④に一・二点をつけ、④②③をはさんで返る⑤と⑥に上・下点をつける。更に、⑥④②③⑤をはさんで返る⑦と⑧に甲・乙点をつける。

② 「組み合わせ点」には「レ・上レ・甲レ」の三種類がある。例えば、「A㆓ B Cレ D」となる場合、「B→D→C→A」というように、その記号がついている文字を読む前に、すぐ下の文字を読んでから上に返って読む、というルールとなる。まず記号のないものから二字目→四字目→五字目→六字目（「一」）→三字目（「二」）と返って読む。更に七字目を読み、八字目に「上レ」がついているので、その下の九字目→八字目と返って読み、最後に「下」のつく一字目に返る。

③ 「ハイフン（‐）」は、二字の熟語へ返る、という記号である。例えば、「A㆓‐B C D㆒」となる場合、「A㆓‐B」で一つのかたまりと考え、「C→D→A→B」というように読む。三字目はなにもついていないが、上の文字と「‐」でつながっているため上の文字とセットで読むので保留、四字目→五字目（「一」）と読み、「二」のついている二字目、「‐」でつながった三字目、と読んでいく。後は、なにもついていない六字目→七字目（「上」）→一字目（「下」）と返る。

④ まず、最初の二字はそのままの語順なので返り点はつけず、三字目の「而」は置き字なので読まない。書き下し文の通り読むと「心→欲→所→従」という語順になるので、それに合った「レ点」、「二点」がついたウを選ぶ。

⑤　最初の二字はなにも記号がついていないのでそのままの語順でまず読み、三字目の「三」とその下の「省」は「二」と「－」がついているため保留にする。そして、五字目（「吾」）→六字目（「身」）と読み、「身」に「一」がついているためそこから「二」のついた三字目、そしてその文字と「－」でつながれた四字目を読む。

〔解答〕

①　エ　②　ア　③　ア　④　ウ　⑤　イ